

遠隔監視システム&サービス エル・アイ



監視画面



取扱説明書

《設定編》



太陽光発電



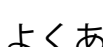
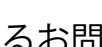
風力発電

※ ASP サービスの性質上、予告なくアップデートが行われる場合がございます。予めご了承ください。

株式会社 ラプラス・システム

<https://www.lapsys.co.jp>

目次

はじめに	1
動作環境	1
L・eye 監視画面のご使用前に	2
  設定メニュー画面	4
  ID・パスワード変更画面	6
  サイト状況異常判定設定画面	7
  受変電接点表示設定画面 OP	8
  故障項目設定画面	10
  メール送信先設定メニュー画面	12
  更新停止検出設定画面	17
  計算式設定画面	18
  位置情報設定画面	20
  気象情報設定画面	22
  認可追加設定画面	24
  アクセストークン管理画面	24
  発電設備情報画面	25
 着せ替え設定画面	27
 発電時間帯設定画面	28
  スマートメーター設定画面 OP	29
よくあるお問い合わせ	30
ソフトウェア仕様	32

はじめに

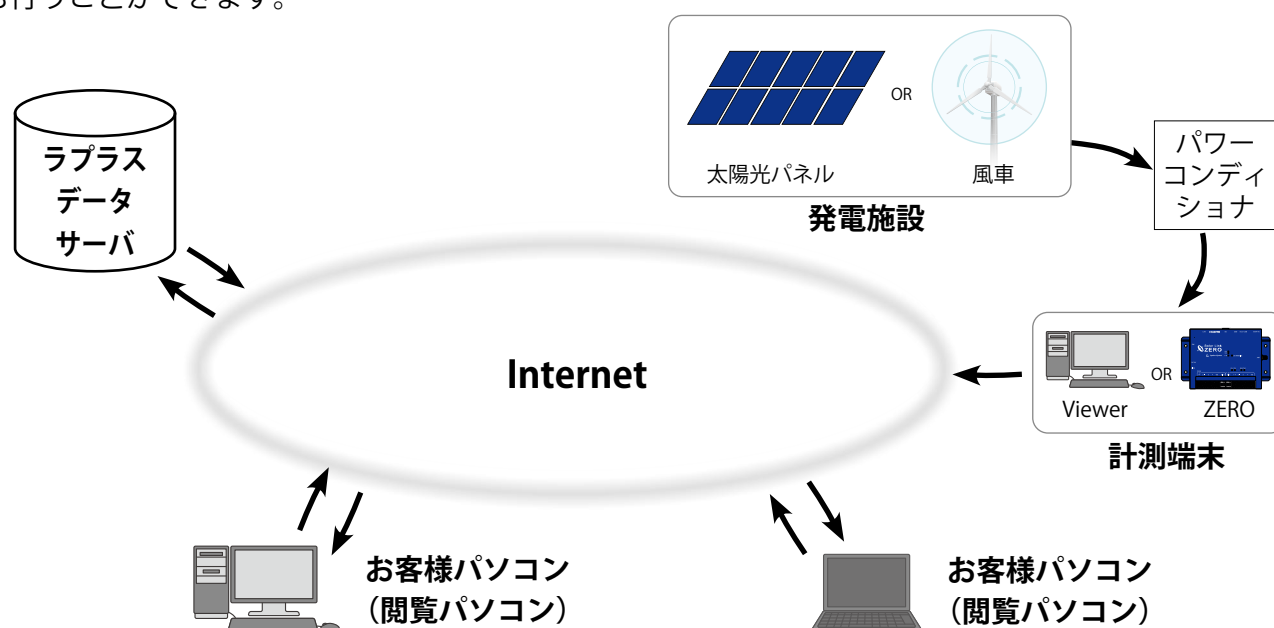
この度は、弊社『遠隔監視システム&サービス L・eye』を導入いただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に、本書《設定編》と併せて《機能編》もお読みください。
取扱説明書は <https://www.lapsys.co.jp/support/Leye/index.html> よりダウンロードいただけます。

本書での画面例はすべて太陽光発電です。

◆遠隔監視システム&サービス L・eye とは

発電サイトに設置された弊社計測システムが受け取った情報（パワーコンディショナの発電状況、運転状況など）を、インターネット経由で弊社データサーバに蓄積します。この情報を Web ブラウザから「L・eye 監視画面」を通してご確認ください。サービスです。

その日の発電量のグラフ表示、過去の日毎・月毎等のグラフ表示、ならびに CSV 形式でのデータダウンロードも行うことができます。



動作環境

パソコン（L・eye 監視画面・発電サイトマップ（オプション））

他環境下での閲覧につきまして動作保証は行っておりません。

項 目	条 件
対応 OS	Windows 10
対応 Web ブラウザ	Google Chrome / Microsoft Edge / Mozilla Firefox いずれも最新版 ※ 上記以外のブラウザではグラフ画面が正しく表示されない場合があります。
画面解像度	1280 x 1024 pixel以上を推奨(1024 x 768 pixelでも使用可)。

スマートフォン・タブレット（L・eye 監視画面）

下記の条件において動作確認済です。

動作確認済の環境下であってもパソコンでの動作とは異なる場合があります。ご了承ください。

条 件
【iPhone/iPad】 iOS 13 : Safari 最新版 (iPhone 7 / iPad (第5世代) のみ動作確認)
【Android】 Android 9 : Google Chrome 最新版 (Google 社製 Pixel 3 のみ動作確認)

L・eye 監視画面のご使用前に

L・eye 監視画面をお使いになるには、ログインする必要があります。

ログイン前の確認

「ログイン情報」のご提供時に、以下の情報をお知らせします。

- ☐ マスター ID / マスターパスワード
- ☐ 一括監視画面 URL / 設定メニュー画面 URL
- ☐ グループ監視画面 URL / 設定メニュー画面 URL（グループ画面（オプション）を使用される場合）

※「ログイン情報」は、原則として、計測データのアップロードの確認完了後にご提供します。

「ログイン情報」に記載のマスター ID とマスターパスワードは、リセット操作（P.3）の際に必要ですので、大切に管理してください。

ログイン

「ログイン情報」に記載された各画面の URL を入力すると、ログイン画面が表示されます。
マスター ID とマスターパスワードを入力して、「ログイン」ボタンをクリックします。



◆ 一度ログインするとログアウト（P.3）するまでログインした状態が継続します。

※ 最後のログインから 90 日間アクセスしなかった場合は、自動的にログアウトします。
サーバメンテナンス等が発生した場合にも、ログアウトすることがあります。

【ログインできない場合】

ID またはパスワードに誤りがあった場合、エラーメッセージが表示されます。
内容をご確認の上、再度ログインを行って下さい。

なお、Web ブラウザの表示メニューのエンコードが「Unicode (UTF-8)」以外では、ログインできない場合があります。以下の方法でご確認ください。

Google Chrome	ウィンドウ右上の Chrome メニュー → [設定] → [詳細設定を表示] → [ウェブコンテンツ] → [フォントをカスタマイズ] → [エンコード]
Mozilla Firefox	メニューバーの [表示] → [文字エンコーディング]

ログアウト

ログイン後、各画面の右上にある  ボタンをクリックして開くメニューから行います。



「ログインできないとき」ボタン



任意に設定した ID とパスワードが不明になった時など、任意に設定した ID とパスワードを一度リセットする場合に使用します。

リセットするには、「ログイン情報 (P. 2)」に記載されたマスター ID・マスターパスワードの入力が必要です。

リセット後は、マスター ID・マスターパスワードで再度ログインを行ってください。

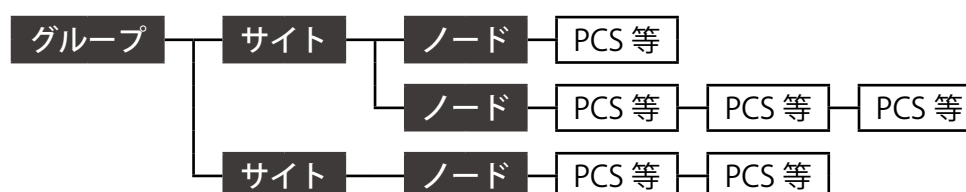
メールアドレス登録のお願い

L・eye 監視画面には、設備の故障等の被害を最小限に抑えるため、パワーコンディショナや受変電設備から送信される異常信号を計測システムが検知した場合にメール通知する機能があります。本システム導入時には、通知用メールアドレスが登録されていないので、お客様にてご登録をお願いいたします (P. 12)。通知する故障項目によってメールの宛先を振り分けたい場合はメールグループの作成が必要です (P. 14)。

L・eye 監視画面における「ノード」「サイト」「グループ」

ノード	データをアップロードする単位。 計測端末(Solar Link ZERO、Solar Link Viewer、ストリング監視機器等) 1 つが、1 ノードに相当する。
サイト	一括監視画面に表示する単位。1 ノード～数ノードをまとめて表示したもの。
グループ	数サイトをひとまとめにしたもの。

【概念図】



太陽光

風力

設定メニュー画面

Web ブラウザに設定メニュー画面 URL を入力すると表示される画面です。
各種設定の確認・変更を行うことができます。



太陽光

風力

ID・パスワード変更画面（P.6）

ID とパスワードを変更することができます。
※グループ監視も対応しています。



太陽光

風力

サイト状況異常判定設定画面（P.7）

異常に関する計測項目の発生を、一括監視画面の「サイト状況」の異常表示に反映するかどうかを設定することができます。

※このボタンは PCS 毎の停止（「Pn 停止」など）の取得や接点入力信号の計測を行っていない場合も表示されます。



太陽光

風力

受変電接点表示設定画面（P.8）

OP

計測している接点入力信号の一括監視画面の受変電設備エリアの表示を任意に設定することができます。



太陽光

風力

故障項目設定画面（P.10）

パワーコンディショナや受変電設備の故障や異常などの信号を受け取った場合の、メール送信や履歴表示について項目毎に設定することができます。



太陽光

風力

メール送信先設定メニュー画面（P.12）

通知メールの送信先の登録や、登録したメールアドレスでメールグループを作ることができます。



太陽光

風力

更新停止検出設定画面（P.17）

計測端末からのデータアップロードが停止してから何分経過したら『更新停止の発生』とするかを設定することができます。システム障害履歴画面に履歴を残し、メール通知を行うタイミングも設定することができます。



太陽光

風力

計算式設定画面（P.18）

PCS 毎に設定されている計測チャンネルや数値を用いて任意の計算式を作成し、一括監視画面に表示することができます。



太陽光

発電診断設定メニュー画面

4 つの発電診断「日射診断」、「出力比率診断」、「経年分析」、「発電停止診断」の実施 ON/OFF やメール通知などに関する設定をすることができます。

詳細は『L・eye 監視画面 太陽光発電 取扱説明書 別冊《発電診断》』をご確認ください。



太陽光

風力

位置情報設定画面（P.20）

発電サイトの所在地を登録することができます。登録すると気象情報設定画面の地図上に表示されます。
※グループ監視では、発電サイトマップ（オプション）をお申し込みいただいた場合に表示されます。



太陽光

風力

気象情報設定画面（P.22）

発電サイトの天気情報を表示するにあたり、気象観測地点の設定と、一括監視画面の天気情報（現在の天気・予報）の表示 / 非表示を設定することができます。



太陽光 風力 認可追加設定画面 (P.24)

ラプラス ID に発電サイトを登録する際に使用します。ラプラス ID の詳細は、認可追加設定画面の「ラプラス ID とは?」をクリックしてご確認ください。

※グループ監視も対応しています。



太陽光 風力 アクセストークン管理画面 (P.24)

L・eye 監視画面と弊社が提供する他のソフトウェア (※ 1) とを連携させる場合に必要となるトークン (連携キー) を発行することができます。 ※ 1) 現在は O&M Assist のみです。



太陽光 風力 発電設備情報画面 (P.25)

発電サイトの設備情報を設定します。以下の場合は必ず設定してください。

- ・発電診断の「日射診断」、「出力比率診断」、「経年分析」を行う場合 (太陽光発電のみ)
- ・自家消費型出力制御機能をご利用の場合、かつ蓄電池を計測している場合 (太陽光発電のみ)



太陽光 着せ替え設定画面 (P.27)

L・eye 監視画面のデザインテイストを選択できます。



太陽光 発電時間帯設定画面 (P.28)

発電サイトの位置情報から、発電時間帯、日出時刻、日没時刻を計算し、表示します。

発電時間帯は任意の時刻に変更でき、「発電停止診断」の診断時間帯としてもご利用いただけます。

発電停止診断については「L・eye 監視画面 取扱説明書 別冊《発電診断》」をご確認ください。

※ PCS を計測していない場合は表示されません。



太陽光 スマートメーター設定画面 (P.29) OP

低圧スマートメーターの B ルートサービスの「認証 ID」と「パスワード」を設定することができます。

太陽光 風力 ID・パスワード変更画面

設定メニュー画面で「ID・パスワード変更」ボタンをクリックすると表示される画面です。マスター ID とマスターパスワードから、他の ID とパスワードに変更することができます。新しい ID を 1 回、新しいパスワードを 2 回、それぞれ入力し、「設定を変更」ボタンをクリックしてください。変更後は、ID・パスワードのリセット画面（P.3）以外は、変更した ID とパスワードのみが有効となります。



設定可能な文字と文字数

ID は、半角英数字で 5 文字以上 32 文字以内です（記号は使用できません）。

パスワードは、半角英数字または記号 で 8 文字以上 128 文字以内です。

※ ID はアルファベットで始まる必要があります。

数字だけを設定した場合、「不正な文字が含まれています」等のメッセージが表示されます。

※エラーメッセージが表示された場合は、違う内容で ID を設定しなおしてください。

ID・パスワードの変更後は、新しい ID・パスワードで再度ログインを行い、正しく変更されていることを確認してください。

太陽光

風力

サイト状況異常判定設定画面

設定メニュー画面で「サイト状況異常判定設定」ボタンをクリックすると表示される画面です。異常に関する計測項目の発生を、一括監視画面の「サイト状況」の異常表示に反映するかどうかを設定することができます（サイトが複数ある場合のみサイトを選択してください）。



一括監視画面のサイト状況

※ PCS 毎の停止（「Pn 停止」など）の取得や接点入力信号の計測を行っていない場合でもこの画面は表示されます。「編集」ボタンをクリックしても項目が表示されない場合は、設定可能な項目が無いことを示しています。



① サイト

サイトを選択して「編集」ボタンをクリックすると、選択したサイトの異常に関する計測項目が表示されます。

② 項目

PCS の停止表示



接点入力信号の項目名：受変電設備エリア

③ サイト状況に反映する

停止信号や接点入力信号を受信した際に、一括監視画面の「サイト状況」を異常表示する場合にチェックを入れます。グループ監視を行っている場合は、グループ画面のサイト状況にも反映されます。

④ Prev/Next

Prev、1、2…Next のボタンで表示ページを切り替えることができます。

⑤ 編集を保存

設定を保存します。

太陽光

風力

受変電接点表示設定画面

OP

設定メニュー画面で「受変電接点表示設定」ボタンをクリックすると表示される画面です。
計測している接点入力信号に合わせて、一括監視画面の受変電設備エリアの表示を任意に設定することができます。
ここで指定したテキストは受変電設備履歴画面およびメール本文にも反映されます。



一括監視画面の受変電設備エリア

設定メニューへ戻る

L・eye

ON 受変電接点表示設定

① サイト ラプラス メガソーラー 太陽光発電所 編集

④ 初期設定に戻す

項目	② 発生		③ 復帰	
	表示テキスト	表示色選択	表示テキスト	表示色選択
過電流	発生			
地絡過電圧	発生			
PCS用エアコン2台故障	発生			
パワコン重故障	発生			
パワコン軽故障	発生			
補機MCCB断	発生			
PCS用エアコン1台故障	発生			
UPS警報	発生			
昇圧TR用エアコン故障	発生			
送電用遮断器[切]	発生			
PCS1 制御電源MCCBトリップ	発生			
PCS2 制御電源MCCBトリップ	発生			
PCS3 制御電源MCCBトリップ	発生			
PCS4 制御電源MCCBトリップ	発生			
PCS5 制御電源MCCBトリップ	発生			
PCS6 制御電源MCCBトリップ	発生			

⑤ Prev 1 Next

表示テキスト欄を空欄にすると、一括監視画面では空欄で表示され、受変電設備履歴画面とメール文面では発生/復帰と表示されます。

⑥ 編集を保存

初期画面

① サイト

サイトを選択して「編集」ボタンをクリックすると、選択したサイトで計測している接点入力信号とその表示設定が表示されます。

該当項目が発生した場合に表示するテキストと色を設定します。

② 発生

表示テキスト 任意のテキストを設定します（最大4文字）。
※空欄にすると、一括監視画面では空欄で表示され、受変電設備履歴画面とメール本文には「発生」と表示されます。

表示色 表示色選択カラーパレットから選択します。



該当項目が復帰した場合に表示するテキストと色を設定します。

③ 復帰

表示テキスト 任意のテキストを設定します（最大4文字）。
※空欄にすると、一括監視画面では空欄で表示され、受変電設備履歴画面とメール本文には「復帰」と表示されます。

表示色 表示色選択カラーパレットから選択します。

④ 初期設定に戻す

初期設定に戻します。
※初期設定
発生…表示テキスト:「発生」 表示色:赤
復帰…表示テキスト:空欄 表示色:緑

⑤ Prev/Next

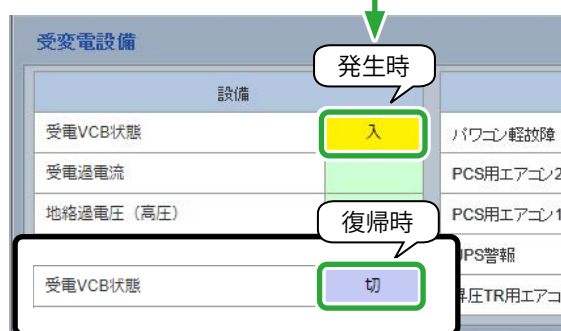
表示ページは20項目毎に分かれます。
Prev、1、2…Nextのボタンで表示ページを切り替えることができます。

⑥ 編集を保存

設定を保存します。

◆受変電接点表示設定例

項目	発生		復帰	
	表示テキスト	表示色選択	表示テキスト	表示色選択
受電VCB状態	入	黄色	切	紫色
受電過電流	発生	赤色		緑色
地絡過電圧(高圧)	発生	赤色		緑色
地絡過電圧機器異常	発生	赤色		緑色
パワーコン重故障	発生	赤色		緑色
パワーコン軽故障	発生	赤色		緑色



一括監視画面 受変電設備エリア
※表示テキストと表示色の変更が反映されます。



受変電設備履歴画面
※表示テキストの変更のみ反映されます。

故障項目設定画面

設定メニュー画面で「故障項目設定」ボタンをクリックすると表示される画面です。
パワーコンディショナや受変電設備の故障や異常などの信号を受け取った場合の、メール送信や履歴表示について項目毎に設定することができます。

設定メニューへ戻る

Leye

故障項目設定

① ノード ラプラス メガソーラー 太陽光発電所 A棟

編集

②

③

④

風況詳細 コード	PCS型式 コード	内容	発生		復帰		メール送信設定		履歴表示設定		
			発生	復帰	送信グループ	送信パターン	常時	メール通知	なし		
3013	005	主回路過電圧 重故障	☒	☐	全員	[A] 常時送信	☒	☐	☐		
3014	005	主回路過電圧 軽故障	☒	☐	全員	[A] 常時送信	☒	☐	☐		
2018	005	PCSインバータ側過電流	☒	☐	全員	[A] 常時送信	☒	☐	☐		
2019	005	系統瞬時過電圧	☒	☐	全員	[A] 常時送信	☒	☐	☐		
2020	005	系統瞬時不足電圧	☒	☐	全員	[A] 常時送信	☒	☐	☐		
2021	005	同期外れ	☒	☐	全員	[A] 常時送信	☒	☐	☐		
2022	005	相回転異常	☒	☐	全員	[A] 常時送信	☒	☐	☐		

Prev 1 2 3 4 Next

- | | | |
|-------------|---|--|
| ① ノード | ノードを選択して「編集」ボタンをクリックすると、選択したノードの故障項目一覧が表示されます。 | |
| ② 内容 | 項目名が表示されます。 | |
| ③ メール送信設定 | 発生 / 復帰 | 通知が必要な項目にチェックを入れます。初期設定では、全ての項目の発生のチェックが ON になっています。上図の赤い四角枠内のチェックボックスを ON / OFF して、全ての項目を一括で ON / OFF することができます。 |
| | 送信グループ | 項目ごとにメールの送信先をグループ単位で選択します。送信グループの設定はメールグループ設定画面で行います (P. 14)。初期設定は「全員」です。 |
| | 送信パターン | 項目ごとにメールを送信する時間帯 (送信パターン) を選択します。送信パターンの設定は設定アイコン  をクリックして表示される画面で行います。初期設定は「[A] 常時送信」です。 |
| ④ 履歴表示設定 | 各履歴画面の発生 / 復帰の表示方法を項目毎に設定します。
常時 : すべての履歴を表示します。
メール連動 : 「③メール送信設定」の送信パターンで設定した時間帯の履歴が表示されます。
なし : 表示されません。
上図の赤い四角枠内のラジオボタンを選択して、全ての項目を一括で変更することができます。
初期設定は「常時」です。
この設定は、過去の履歴にも反映されます。 | |
| ⑤ Prev/Next | 表示ページは 20 項目毎に分かれます。
Prev、1、2…Next のボタンで表示ページを切り替えることができます。 | |
| 編集を保存 | 設定を保存します。 | |

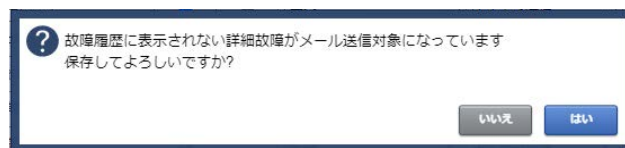
※この画面での設定内容は、設定を行ったノードで計測している全ての PCS に反映されます（次ページ参照）。
※「発生 / 復帰」については、以後のページで「発生」のみ記載している場合があります。

【履歴表示設定に関する注意】

図①のように履歴表示設定の背景色が黄色に変化している場合や、「編集を保存」をクリックした後に、図②の画面が表示される場合は、「③メール送信設定」の「発生 / 復帰」のチェックボックスが ON であるのに、「④履歴表示設定」が「なし」になっている項目です。再度、設定内容を確認してください。

メール送信設定				履歴表示設定		
発生	復帰	送信グループ	送信パターン	常時	メール連動	なし
☒	☐	全員	[A] 常時送信	☒	☐	☐
☒	☐	全員	[A] 常時送信	☐	☐	☒

図①



図②

送信パターン設定画面

「③メール送信設定」の送信パターンの設定アイコン  をクリックすると表示される画面です。

送信パターン設定

	⑥ 送信時間帯
A	常時送信
B	00 00 ~ 23 59
C	00 00 ~ 23 59
D	00 00 ~ 23 59
E	00 00 ~ 23 59
F	発電時間帯

⑦ 中止 ⑧ 保存

メールを送信する時間帯を設定します。

送信パターン A は「常時送信」で固定されています。

送信パターン B ~ E は任意の時間帯を時・分単位

(00 時 00 分 ~ 23 時 59 分) で設定することができます。

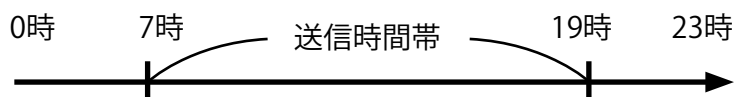
送信パターン F は発電時間帯設定 (P.28) と連動します (一部の項目でのみ選択できます)。

⑥ 送信時間帯

⑦ 中止 設定を保存せずに画面を閉じます。

⑧ 保存 設定を保存して画面を閉じます。

◆送信パターンが「07 時 00 分 ~ 19 時 00 分」の場合



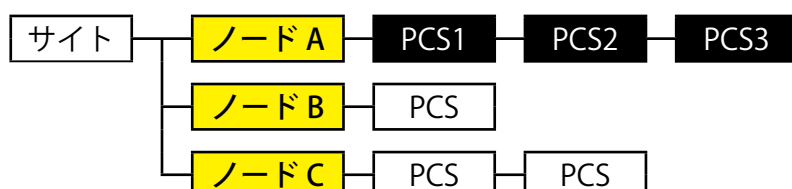
- ・ 06 時 59 分 59 秒の発生 / 復帰 … メール送信されません
- ・ 07 時 00 分 00 秒の発生 / 復帰 … メール送信されます
- ・ …
- ・ 19 時 00 分 59 秒の発生 / 復帰 … メール送信されます
- ・ 19 時 01 分 00 秒の発生 / 復帰 … メール送信されません

※メール送信時間帯内に発生 / 復帰した故障のメールが、メール送信時間帯の後に送信される場合があります (P. 31)。

※送信パターンはノード毎の設定が必要です。

設定内容の反映先

ノード A を選択して故障項目設定を行うと、ノード A で計測している PCS1 ~ 3 (黒色部分) の設定に反映されます。PCS 毎の設定や、異なるノードをまとめて設定することはできません。



メール送信先設定メニュー画面

設定メニュー画面で「メール送信先設定メニュー」ボタンをクリックすると表示される画面です。

故障などが発生 / 復帰した場合の通知先メールアドレスを最大 60 件登録することができます。

メールアドレス設定画面で登録したメールアドレスをグループ登録することができます。

※故障項目設定画面 (P.10) で項目ごとにメールの送信先を変更したい場合は、「メールアドレス設定」と「メールグループアドレス設定」の両方の設定が必要です。



メールアドレス設定画面

メール送信先設定メニュー画面で「メールアドレス設定」ボタンをクリックすると表示される画面です。

	メールアドレス	有効	テスト送信		メールアドレス	有効	テスト送信
1	lapsys1@lapsys.ccs.co.jp	☒	テスト送信	11		☒	テスト送信
2	lapsys2@lapsys.ccs.co.jp	☒	テスト送信	12		☒	テスト送信

① メールアドレス 半角英数字 128 文字以内で設定する必要があります (RFC 5321, RFC 5322 準拠)。

「有効」のチェックボックスは、当該メールアドレスへのメール送信を有効にするか (チェック ON)、無効にするか (チェック OFF) の設定ができます。

② 有効チェックボックス お客様でチェックを OFF にしていないにもかかわらず、チェックが OFF になっている場合があります。
詳細は次ページをご確認ください。

③ テスト送信ボタン メールアドレスを入力後、**テスト送信** ボタンをクリックすると確認メッセージが表示され、「はい」ボタンのクリックでメールのテスト送信が行われます。
必ず、テストメールが受信できているか、確認してください。
確認した後、画面下の「編集を保存」ボタンをクリックしてください。

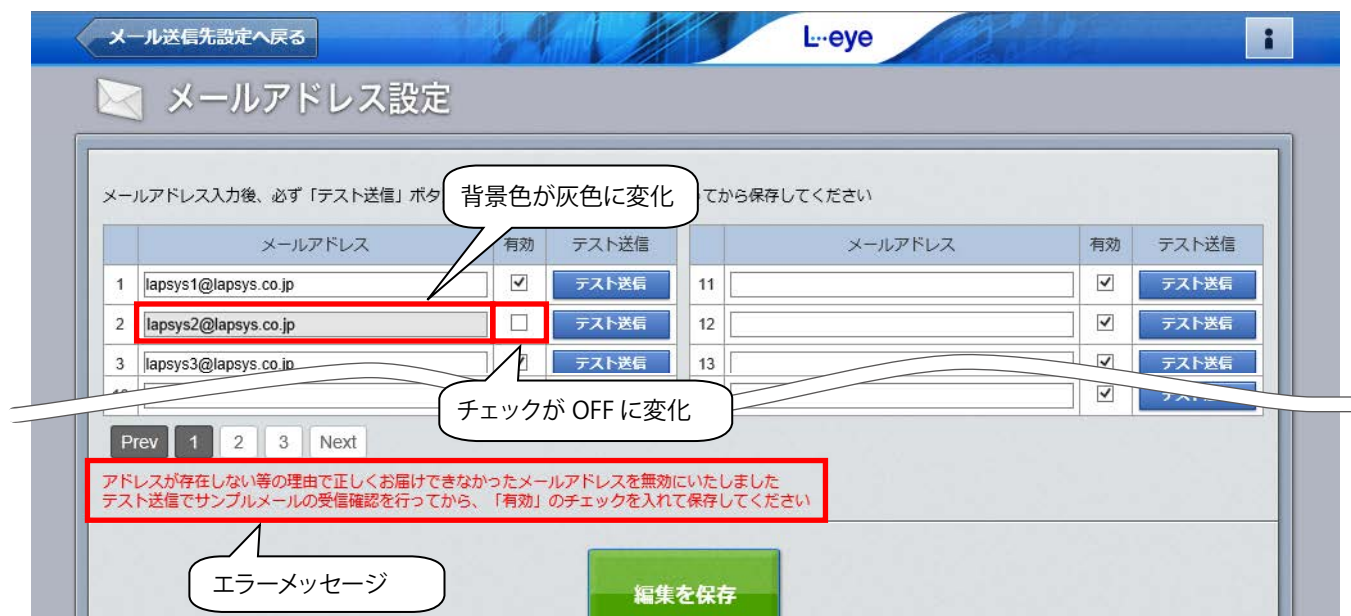
送信できないメールアドレスが登録されている場合

存在しないメールアドレスや不正なメールアドレスが登録されていることにより、メールが通知できていないと弊社のサーバが検知した場合は、当該メールアドレスへのメール送信を無効にします。

弊社でこの処理を行うと、メールアドレス設定画面では、当該メールアドレス入力枠の背景が灰色に変化するとともに、有効のチェックボックスが OFF になり、赤字のメッセージが表示されます（図①）。

また、一括監視画面上部の「お知らせ」には新着のメッセージが届きます（図②）。

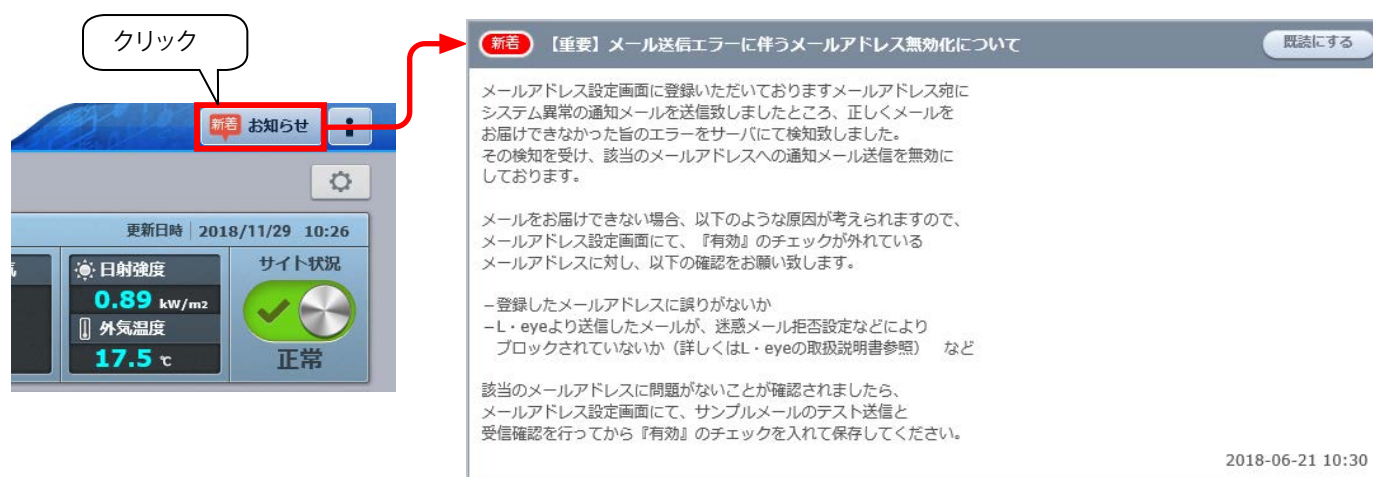
いずれの場合もメッセージをご確認いただき、当該メールアドレスの修正などのご対応をお願いいたします。



図①：メールアドレス設定画面でのエラー表示

※当該メールアドレスを修正し、「有効」のチェックを ON にして「編集を保存」ボタンをクリックすると、背景色は白色に戻り、赤字のメッセージは消えます。

※お客様で無効にされたメールアドレスと弊社で無効にしたアドレスが一時的に混在する可能性があります。弊社で無効にした場合のみメールアドレス入力枠の背景色が灰色になり、エラーメッセージが表示されます。



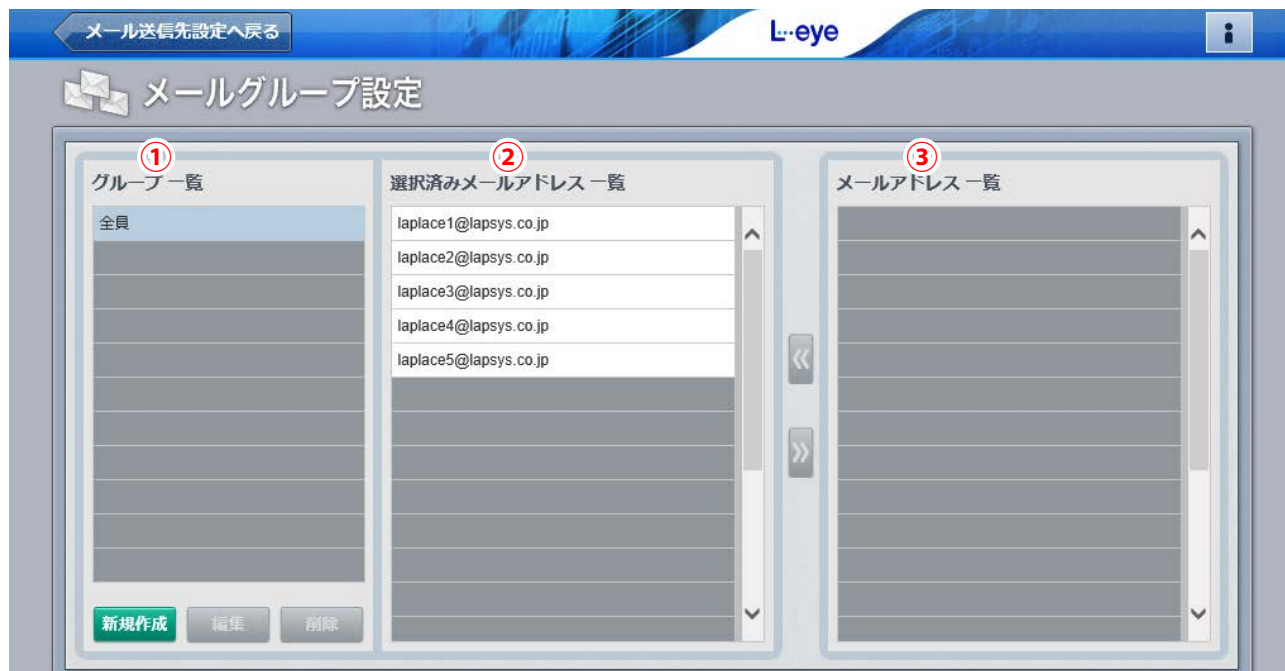
図②：一括監視画面の「お知らせ」

メールアドレス修正後のお願い

各故障項目の通知先はグループ単位で設定します。そのため、メールアドレスを修正された場合は、メールグループ設定（P. 14）をご確認いただき、必要に応じて修正を行ってください。

メールグループ設定画面

メール送信先設定メニュー画面で「メールグループ設定」ボタンをクリックすると表示される画面です。



初期画面

- ① グループ一覧 登録したグループ名が一覧で表示されます（初期設定では「全員」のみ）。
- ② 選択済みメールアドレス一覧 グループ登録したメールアドレスが表示されます。このエリアへの登録は、「③メールアドレス一覧」の中から「<<」または「>>」ボタンを使用して行います。
- ③ メールアドレス一覧 メールアドレス設定画面で事前に登録したメールアドレスが全て表示されます。

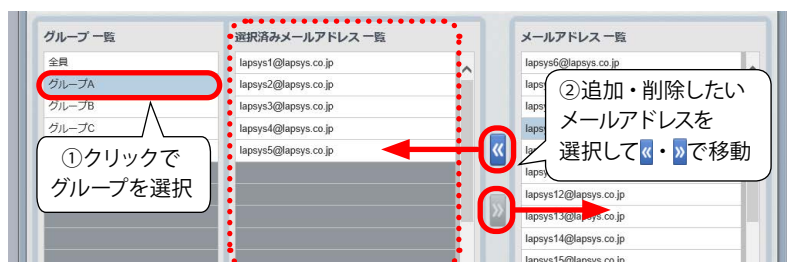
グループの新規作成



「新規作成」ボタンをクリックして表示される「グループ新規作成」画面で任意のグループ名を入力し（10文字以内）、「保存」ボタンをクリックします。

「①グループ一覧」に新規作成したグループが表示されていることを確認し、クリックで選択します。「③メールアドレス一覧」からグループにしたいメールアドレスを選択し、「<<」ボタンで「②選択済みメールアドレス一覧」へ移動させます。

グループの編集



「①グループ一覧」から編集したいグループを選択します。「<<」または「>>」ボタンを使用して、「②選択済みメールアドレス一覧」を編集します。

グループの削除



「グループ一覧」から削除したいグループを選択して「削除」ボタンをクリックします。

確認画面が表示されますので、削除する場合は「はい」ボタンを、操作を取り消す場合は「いいえ」ボタンをクリックします。

グループ名の編集



「グループ一覧」から編集したいグループ名を選択して「編集」ボタンをクリックします。

「グループ名編集」画面が表示されますので、グループ名を編集して、保存する場合は「保存」ボタンを、操作を取り消す場合は「中止」ボタンをクリックします。

※グループに登録されているメールアドレスの入れ替えは、前ページの「◆グループの編集」の操作で行ってください。

通知メールのサンプル

件 名： NOTICE **ノード名称**
 送信者： no-reply-service@lapsys.co.jp
 メール本文：

一括監視画面の編集モードでサイト名称を変更しても、通知メールのノード名は変更されません。

ノード名称

2016-01-27 10:36:55 PCS1 UF14 インバータ異常 発生
 2016-01-27 10:37:55 PCS1 UF14 インバータ異常 復帰
 2016-01-27 10:39:26 -- 交流不足電圧 発生

PCS の異常信号を受信すると、下記の項目が1行ずつ表示されます。

- ・日付
- ・時刻
- ・PCS 番号
- ・メーカー故障コード
- ・項目名
- ・状態

※ このメールは自動送信専用です。
 ※ 返信はできませんのでご注意ください。

受変電設備では PCS 番号、メーカー故障項目が「-- --」と表示されます。
 ※状態のテキストは受変電接点表示設定 (P.8) の設定内容に準じます。

※発生 / 復帰チェックボックス (P. 10) にチェックが入っている項目については、5 分間で検知された項目がまとめて1通のメールで通知されます。同じ事象が5分以内に検知された場合は、検知された回数だけメールに記載されます。

《重要》通知メールの受信に、各社携帯電話向けメールアドレスを指定される場合

ラプラス・システムから送信したメールが、携帯電話サービス事業者にて迷惑メール拒否設定等によりブロックされると、他のユーザー様のメールアドレスを含む全てのメール送信がブロックされ続ける場合があります。
※ 送信元サーバとの調整が必要なため、この状態が解消されるまでには数日を要する場合があります。

このようなトラブルを未然に防ぐため、以下のドメインを含むメールアドレスの受信が拒否されないように設定をお願いします。

- ・全てのパソコンメールを拒否しない設定
- ・受信可能なメールアドレスに次のドメインを登録 **@lapsys.co.jp**

通知メールは“no-reply-service@lapsys.co.jp”のアドレスにて送信しますが、別のアドレスにてサーバメンテナンス情報等も送信させていただく場合がありますので、上記ドメインでの登録をお願いします。また、携帯電話側の設定方法は、携帯電話サービス事業者にご確認ください。

◆ 使用可能なメールアドレスの例

RFC 5321, RFC 5322 準拠のメールアドレスに限り、登録と送信を行っていただけます。メールアドレス設定画面の「テスト送信」ボタンをクリックして「不正なメールアドレスです」と表示される場合は、下記をご参照ください。

主な携帯電話サービス事業者では、メールアドレスの「@」より左側に以下の条件が示されています。

- ・登録可能な文字数は、半角文字 3 ～ 30 文字です（一部は 4 ～ 20 文字）。
- ・登録可能な文字の種類は、半角英数字および「-」（ハイフン）、「.」（ドット）、「_」（アンダーバー）です。
- ・スペースは使用できません。
- ・先頭は英文字のみ使用できます。
- ・「@」の直前となる最後に「.」（ドット）を使用することはできません。
- ・「.」（ドット）をメールアドレスの「@」より左側で連続使用することはできません。

※上記は、メールアドレスを新規作成される場合の条件です。ご使用のメールアドレスが上記の条件にしたがっていない場合は、メールアドレスを変更されるか、他のメールアドレスをご利用ください。

※パソコン用のメールアドレスにおいても同等の条件となります（一部、使用可能な記号が緩和されます）。

※ L・eye 監視画面 では、総文字数 128 文字以下でメールアドレスを設定してください。

更新停止検出設定画面

設定メニュー画面で「更新停止検出設定」ボタンをクリックすると表示される画面です。

計測端末からのデータアップロードが停止してから何分経過したら『更新停止の発生』とするかを設定することができます。システム障害履歴画面に履歴を残し、メール通知を行うタイミングも設定することができます。
※更新停止とは、計測端末とサーバが通信できていない状態です（P. 30）。

① 監視画面表示

計測端末からのデータのアップロードが停止してから何分経過したら『更新停止の発生』とするかを設定します。最短「10」分から最長「60」分まで5分刻みで設定できます。初期設定は30分です。更新停止の発生を検出すると、一括監視画面のサイト状況が「異常」に、PCS情報のPCS状況が「更新停止」に切り替わります。

② 履歴・メール通知

更新停止の発生を検出してから、何分後にシステム障害履歴画面に履歴を残し、発生の通知メールを作成するかを設定します（履歴の表示・メールの送信はP. 10の設定内容に準じます）。初期設定は「0」分後で、最長「60」分まで5分刻みで設定できます。

③ 継続中通知

毎日、指定した時刻に更新停止が発生している場合に通知メールを送信します（但し、「故障項目設定（P. 10）」にて発生の通知をONにしている必要あり）。初期設定は9:00です。

計算式設定画面

設定メニュー画面で「計算式設定」ボタンをクリックすると表示される画面です。
計測チャンネルリストの計測項目を用いて、任意の計算式を作成することができます。作成した計算式を組み合わせることもでき、関数の使用も可能です。

設定メニューへ戻る

L・eye

計算式設定

① サイト ラプラスソーラー発電所 編集

No.	名称	項目	単位	No.	④ 名称	⑤ 計算式	⑥ 項目	⑦ 単位
1	計測回数	計測回数		f1	PCS合計発電電力	[7]+[17]+[25]+[33]+[41]+[49]+	交流電力	kW
2	P1直流電圧	直流電圧	V	f2	売電金額	[80]*36		
3	P1直流電流	直流電流	A	f3				
4	P1直流電力	直流電力	kW	f4				
5	P1交流電圧	交流電圧	V	f5				
6	P1交流電流	交流電流	A	f6				
7	P1交流電力	交流電力	kW	f7				
8	P1故障	故障		f8				
9	P1系統異常	異常		f9				
10	P1停止	故障		f10				

編集を保存

① サイト

サイトを選択して「編集」ボタンをクリックすると、選択したサイトの「②計測チャンネルリスト」と「③計算式リスト」が表示されます。

② 計測チャンネルリスト

選択したサイトの計測項目を一覧で表示します。

③ 計算式リスト

任意で登録した計算式を一覧で表示します。

④ 名称

計算式の名称を入力します（最大 30 文字）。

⑤ 計算式

任意の計算式を登録します（P. 19）。最大 1024 文字で、使用可能な文字は下記の通りです。登録した計算式は一括監視画面の「フレックスエリア」の数値アイテム・状態アイテムの設定に使用できます。

・半角数字 ・関数名に使われる半角英字 ・演算記号 + - * / () []

⑥ 項目

設定した計算式の項目をリストから選択できます（設定必須ではありません）。計算結果には影響しません。

⑦ 単位

設定した計算式の単位をリストから選択できます（設定必須ではありません）。計算結果には影響しません。

計算式の入力方法

◆計算式の入力例

計算式の [] で囲まれた数字は、該当する計測チャンネルの No. を表します。

下図では、[7] = 「P1 交流電力」の計測値です。

No.	名称	項目	単位	No.	名称	計算式	項目	単位
7	P1交流電力	交流電力	kW	f1	A区画PCS合計発電電力	[7] + [16]	交流電力	kW
8	P1故障	故障		f2	B区画PCS合計発電電力	[25] + [34]	交流電力	kW
9	P1系統異常	異常		f3	売電金額	[11] * 36		
10	P1停止	故障		f4	発電所合計発電電力	[f1] + [f2]	交流電力	kW
11	売電電力量	売電電力量	kW	f5				
12	P2直流電流	直流電流	A	f6				
13	P2直流電力	直流電力	kW	f7				
14	P2交流電圧	交流電圧	V	f8				
15	P2交流電流	交流電流	A	f9				
16	P2交流電力	交流電力	kW	f10				

※上図の発電サイトは A 区画と B 区画の合計 2 区画で、A 区画・B 区画の PCS はそれぞれ 2 台ずつとします。

- ① **A 区画 PCS 合計発電電力**
[7] + [16]
A 区画の PCS 合計発電電力は、計測チャンネルリストの「No. 7 : P1 交流電力」と「No. 16 : P2 交流電力」の和で求められるので、計算式は [7] + [16] となります。
- ② **売電金額**
[11]*36
計測チャンネルリストの「No.11: 売電電力量」と売電単価の積で求められるので、売電単価を 36 円とすると、計算式は [11]*36 となります。
※ [] の付いていない数字はそのまま数字として扱われます。
- ③ **発電所合計発電電力**
[f1] + [f2]
計算式リストに登録した No. f1:A 区画 PCS 合計発電電力」と No. f2:B 区画 PCS 合計発電電力」の和で求められるので、計算式は、[f1] + [f2] となります。

計算式で使用可能な関数

計算式リストに以下の関数を入力して計算することもできます。

関数	計算内容	計算例
abs(x)	x の絶対値を返す	abs(8) = 8 abs(-4) = 4
min(x,y)	x, y の内小さい方を返す	min(-2,5) = -2
max(x,y)	x, y の内大きい方を返す	max(-10,-20) = -10

1 つの計算式の中に、複数の関数を入れ子にすることも可能です。

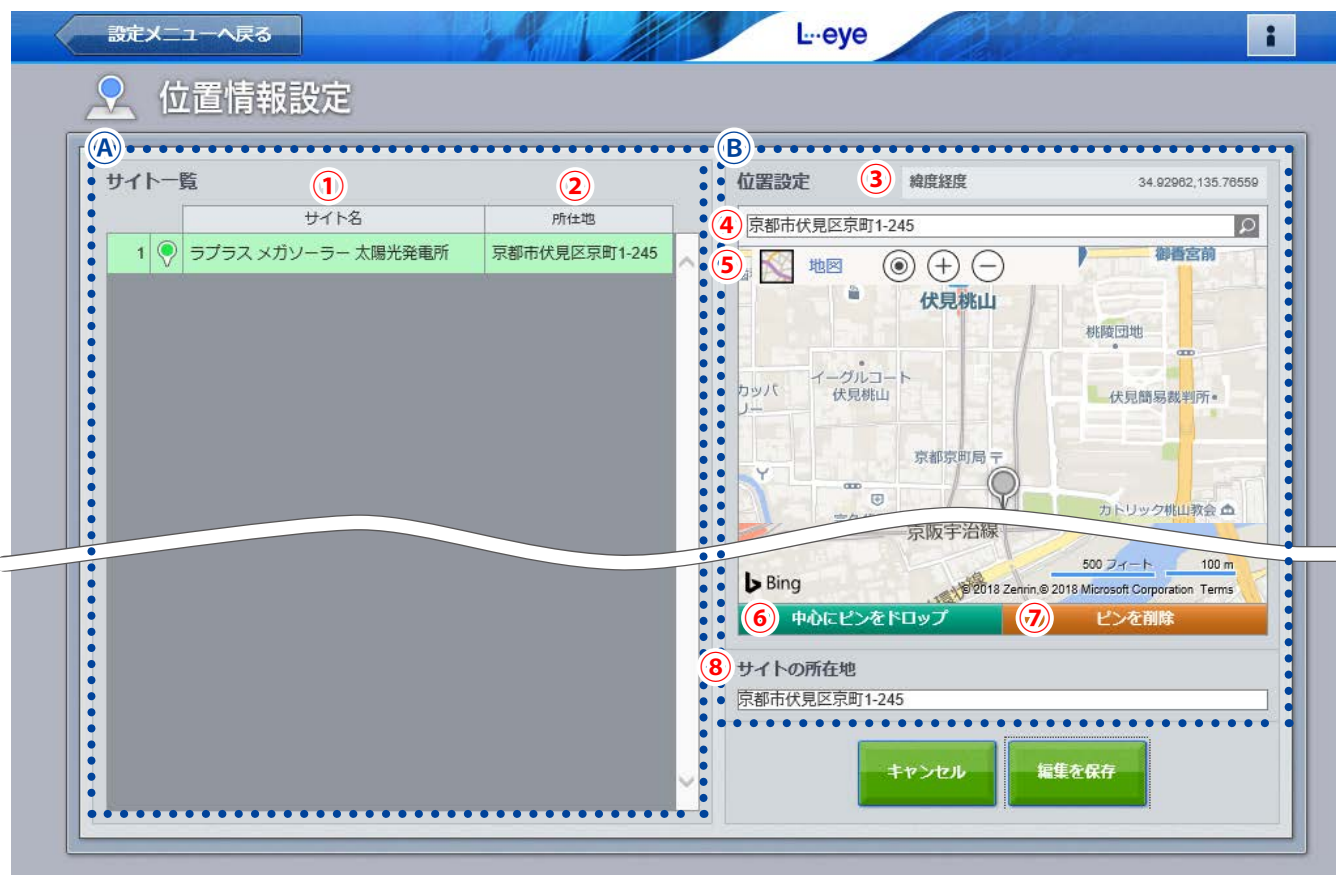
(例) 売電がプラス、買電がマイナスの値で取得されるチャンネルで、それぞれをプラスの値に直して表示する。

No.	名称	項目	単位	No.	名称	計算式	項目	単位
89	売買電力	電力	kW	f4	売電電力	max([89],0)	売電電力	kW
90	計測回数	計測回数		f5	買電電力	abs(min([89],0))	買電電力	kW

位置情報設定画面

設定メニュー画面で「位置情報設定」ボタンをクリックすると表示される画面です。

住所や緯度経度を元に、地図上に発電サイトの位置を表すピンを立てたり、所在地名を登録することができます。

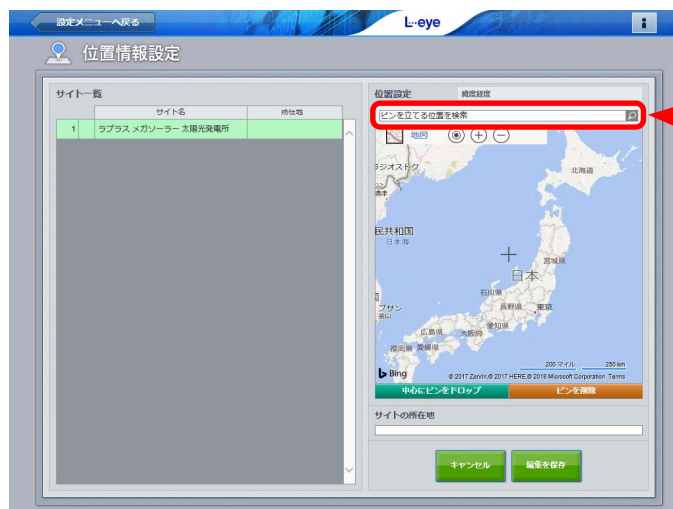


発電サイトの位置と所在地が登録済の画面

A サイト一覧	① サイト名	発電サイト名を表示します。
	② 所在地	「⑧サイトの所在地」で登録した文字情報が表示されます。
	③ 緯度経度	ピンを立てた場所の緯度経度が表示されます。
	④ 位置検索	住所や郵便番号、緯度経度から発電サイトの位置を検索することができます。
B 位置設定	⑤ 操作パネル	 地図 : 地図の種類（道路地図・航空写真）を選択  : 現在地を検索   : 地図を拡大縮小
	⑥ 中心にピンをドロップボタン	「④位置検索」で指定した位置にピンを立てることができます。
	⑦ ピンを削除ボタン	地図上に立てたピンを削除することができます。
	⑧ サイトの所在地	「②所在地」に表示する地名を入力します。

所在地と位置情報（ピンの立て方）の登録方法

1. 「④サイト一覧」の中から所在地の登録や地図上にピンを立てたいサイトをクリックで選択します（図①）。



図①：サイト一覧で発電サイトを選択した状態



図②：ピンを立てた状態

2. 「④位置検索」に当該サイトの住所や郵便番号、緯度経度（半角入力・緯度経度の間は「,」半角カンマで区切る）を入力し、検索ボタンをクリックすると、指定した位置に十字マークが移動します。
※操作パネル（前ページの⑤）やマウス操作で十字マークの位置を直接操作して設定することもできます。
3. **中心にピンをドロップ** ボタンをクリックして、十字マークの中心にピンを立てます（図②）。
4. 「⑧サイトの所在地」に所在地名を任意に入力します。
5. 「編集を保存」ボタンをクリックして保存します。
※保存する前に別の画面へ移動すると設定内容が破棄されますのでご注意ください。



保存すると「④サイト一覧」の「②所在地」に「⑧サイトの所在地」で登録した地名が反映されます

気象情報設定画面

設定メニュー画面で「気象情報設定」ボタンをクリックすると表示される画面です。

一括監視画面に気象情報を表示するにはこの画面で気象観測地点の登録と表示設定を行う必要があります。位置情報設定メニュー（P. 20）にてあらかじめ発電サイトの位置を登録しておく、発電サイトの位置を中心に半径 20km 以内のエリアとエリア内にある気象観測地点が表示されます。

設定メニューへ戻る

気象情報設定

登録地点設定

① 例:住所 郵便番号 検索

② 緯度経度

③ 発電所 地点 登録地点

④ 地図

位置情報設定で登録した発電サイトピン

気象観測地点として設定されたピン

⑤ 登録地点を表示

⑥ 中心から選択

⑦ 表示設定

- ☒ 現在の天気を表示する
- ☐ 天気予報を表示する

編集を保存

発電サイト付近の地点を登録地点として設定した場合の図

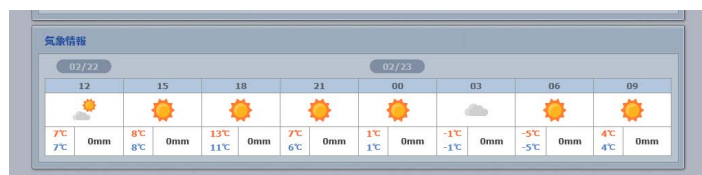
① 位置検索	住所や郵便番号、緯度経度から発電サイトの位置を検索することができます。
② 緯度経度	選択したピンの緯度経度が表示されます。
③ 凡例	凡例を表示します。
④ 操作パネル	P. 20 参照
⑤ 登録地点を表示ボタン	気象観測地点として登録した地点を地図の中心に表示させたい場合にクリックします。
⑥ 中心から選択ボタン	クリックすると地図の中心から一番近い地点が登録地点に設定されます。
⑦ 表示設定	現在の天気を表示する 一括監視画面に現在の天気を表示したい場合にチェックを入れます。
	天気予報を表示する 一括監視画面に今日と明日の天気予報を表示したい場合にチェックを入れます。

一括監視画面での表示

◆「現在の天気を表示する」にチェックを入れた場合
画面上部に現在の天気が表示されます。



◆「天気予報を表示する」にチェックを入れた場合
画面の最下部に気象情報エリアが表示されます。



※「現在の天気を表示する」と「天気予報を表示する」の両方にチェックを入れた場合は、両方表示されます。
※気象情報は 60 分毎に更新されます。

気象情報を一括監視画面に表示する方法

位置情報設定 (P. 20) で位置登録している場合

1. 地図の中心に発電サイトのピンが立っていることを確認し、**中心から選択** ボタンをクリックすると、ピンから一番近い地点  が登録地点  として設定されます (山間部など地形によっては、この設定が最適な地点とは限りませんので必要に応じ変更してください)。任意のピン  を直接クリックして登録することもできます。
※設定を解除したい場合は、青いピンをクリックしてください。
2. 「⑦表示設定」から一括監視画面に表示したい気象情報にチェックを入れます。
3. 「編集を保存」ボタンをクリックして保存します。

位置情報設定 (P. 20) で位置登録していない場合

「①位置検索」に当該サイトの住所や郵便番号、緯度経度 (半角入力・緯度経度の間は「,」半角カンマで区切る) を入力した後、検索ボタンをクリックして、発電サイトの所在地を地図上に表示させます。
この後は、上記「位置情報設定で位置登録している場合」の手順を行います。
※位置情報設定で位置登録していない場合、地図には東京駅を中心に 20km 以内のエリアが表示されます。

太陽光 風力 認可追加設定画面

設定メニュー画面で「認可追加設定」ボタンをクリックすると表示される画面です。
ラプラス ID 欄にメールアドレスを入力し、登録コードを送信ボタンをクリックすると、ラプラス ID に発電サイトを登録する際に必要な登録コードを指定したメールアドレスへ送信することができます。



太陽光 風力 アクセストークン管理画面

設定メニュー画面で「アクセストークン管理」ボタンをクリックすると表示される画面です。
弊社がご提供するその他システム（現在は O&M 業者様向けの O&M Assist のみ）と連携する際に必要なトークン（連携キー）を発行できます。発行した連携キーは削除ボタンで削除するまで有効です。



- ① 用途 発行した連携キーの使用用途など、発行履歴を残すことができます。
- ② 発行ボタン 「①用途」を入力した後にこのボタンをクリックすると連携キーが発行され、画面に表示されます。この画面は再表示されませんので、画面を閉じる前にコピーしてください。
- ③ 削除ボタン 他ソフトウェアとの連携を中止する場合など、連携キーを廃止する場合にクリックします。クリックすると当該行も削除されます。

太陽光

風力

発電設備情報画面

設定メニュー画面で「発電設備情報」ボタンをクリックすると表示される画面です。

発電サイトの設備情報を設定します。

※お客様にて設定いただきます。

※ご提供時期によっては、設定済みの場合があります。

以下の場合は必ず設定してください。

- ・ 発電診断の「日射診断」、「出力比率診断」、「経年分析」を行う場合（※ 1）
 - ・ 自家消費型出力制御機能をご利用の場合、かつ蓄電池を計測している案件（※ 2）
- （※ 1）太陽光発電のみ。『L・eye 監視画面 太陽光発電 取扱説明書 別冊《発電診断》』もご確認ください。
- （※ 2）太陽光発電のみ。『Solar Legato 機能説明書』もご確認ください。

■ 発電設備情報画面

設定メニューへ戻る

L-eye

発電設備情報

① サイト ラプラスメガソーラー 太陽光発電所 A棟 編集

② PCS定格容量合計 400 kW 編集

③ パネル定格容量合計 400 kW 編集

④ パネル総面積 3200 m2

⑤ 蓄電池定格容量合計 0 kWh 編集

⑧ 編集を保存

■ PCS 定格容量設定画面・パネル定格容量設定画面・蓄電池定格容量設定画面

⑥

一括設定 50 kW > 個別に設定

⑧ 編集を保存

⑦

一括設定 50 kW ▼ 個別に設定

PCS1	50 kW
PCS2	50 kW
PCS3	50 kW
PCS4	50 kW
PCS5	50 kW
PCS6	50 kW
PCS7	50 kW
PCS8	50 kW

⑧ 編集を保存

① サイト	サイトを選択して「編集」ボタンをクリックすると、選択したサイトの発電設備情報が表示されます。
② PCS 定格容量	「編集」をクリックして、選択したサイトの PCS 定格容量を入力します。
③ パネル定格容量	「編集」をクリックして、選択したサイトのパネル定格容量を入力します。 ※太陽光発電のみ表示されます。
④ パネル総面積	選択したサイトのパネル総面積を入力します。 ※太陽光発電のみ表示されます。
⑤ 蓄電池定格容量	「編集」をクリックして、選択したサイトの蓄電池定格容量を入力します。 ※蓄電池を計測している場合のみ表示されます。
⑥ 一括設定	PCS / 蓄電池 1 台あたりの定格容量がすべて同じ場合、一括で設定できます。
⑦ 個別に設定	PCS / 蓄電池 1 台あたりの定格容量が機器ごとに異なる場合は、ボタンをクリックして展開する画面で個別に設定します。 ※入力欄は、PCS / 蓄電池の台数分表示されます。
⑧ 編集を保存	設定を保存します。 ※発電設備情報画面の「編集を保存」は、太陽光発電のみ表示されます。

着せ替え設定画面

設定メニュー画面で「着せ替え設定」ボタンをクリックすると表示される画面です。
L・eye 監視画面のデザインテイストを選択できます。

※ラプラス ID でログインした場合に表示されます。
※小形風力発電など一部の画面には対応していません。



- | | |
|---------------|---|
| ① テイストを選択 | テイストを選択します。 |
| ② 反映イメージ | 選択したテイストの反映イメージを表示します。 |
| ③ テイストを反映する対象 | <p>本サイトのみ : 設定中の発電サイトのみ反映します。</p> <p>ラプラス ID に紐づくすべてのサイト : ラプラス ID に紐づくすべてのサイトに反映します。</p> <p>※グループ監視で1つの設定メニュー画面を共有している場合は、どちらを選択してもグループに紐づくすべてのサイトに反映されます。</p> |
| ④ 編集を保存 | 設定を保存します。 |

発電時間帯設定画面

設定メニュー画面で「発電時間帯設定」ボタンをクリックすると表示される画面です。
 発電サイトの位置情報から、発電時間帯、日出時刻、日没時刻を計算し、表示します。
 発電時間帯は任意の時刻に変更でき、「発電停止診断」の診断時間帯としてもご利用いただけます。
 発電停止診断については「L・eye 監視画面 取扱説明書 別冊《発電診断》」をご確認ください。

※ PCS を計測していない場合は表示されません。

① 発電所位置

位置情報設定画面 (P.20) で登録された位置情報の緯度経度を表示します。
 「未設定」と表示されている場合は、位置情報が未設定です。

位置情報設定 をクリックして、位置情報設定画面 (P.20) に遷移し、設定します。

② 発電時間帯開始時刻

「①発電所位置」の日出時刻を基準に、発電時間帯開始時刻を設定します。
 「+ / -」を選択し、「0 ~ 180」の間で設定できます。初期設定は「+ 90」分です。
 ※「①発電所位置」が「未設定」の場合は、東京都庁の緯度経度の日出時刻を基準にします。

③ 発電時間帯終了時刻

「①発電所位置」の日没時刻を基準に、発電時間帯終了時刻を設定します。
 「+ / -」を選択し、「0 ~ 180」の間で設定できます。初期設定は「- 90」分です。
 ※「①発電所位置」が「未設定」の場合は、東京都庁の緯度経度の日没時刻を基準にします。

④ 発電時間帯

カレンダーで選択した年月日の発電時間帯、日出時刻、日没時刻を、テキストと棒グラフで表示します。

本日 をクリックすると、本日の情報が表示されます。
 計測データがない過去の年は表示できません。未来は来年の12月31日まで表示できます。

⑤ 編集を保存

設定を保存します。

スマートメーター設定画面 OP

設定メニュー画面（P.4）で「スマートメーター設定」ボタンをクリックすると表示される画面です。
B ルートサービスの「認証 ID」と「パスワード」を設定することができます。

※本機能は低圧スマートメーター用の機能です。

事前に電力会社から入手した B ルートサービス用「認証 ID」と「パスワード」を入力して「設定を変更」をクリックします。
※計測端末の Web アプリケーションで設定済の場合は、その設定情報が画面に表示されます。
※通信状況により画面表示時や更新時に設定情報が反映されない場合があります。

よくあるお問い合わせ

無通信と更新停止

サーバに計測データが送られてこない状況として、「パワーコンディショナ (PCS) ～ 計測端末間が無通信」と「計測端末～サーバ間が無通信」（＝ネットワークトラブル）の 2 つが考えられます。

◆「無通信」の状態：PCS ～ 計測端末間が無通信

送信されてきた直近のデータに、PCS の故障や機器接続の問題と思われる空データや不正な状態があった。



この状況をサーバが判断した場合、一括監視画面の PCS 状況には と表示され、無通信発生履歴を残し、通知メールの作成を行います（※ 1）。

→ PCS が正常に稼動しているか、PCS ～計測端末間の配線の接続状況を確認してください。

◆「更新停止」の状態：計測端末 ～ サーバ間が無通信（＝現地のネットワークトラブル）

計測端末の故障やネットワークの問題で、30 分を超えて（※ 2）データがアップロードされていない状態があった。



この状況をサーバが判断した場合、更新停止検出設定画面で設定した内容で、一括監視画面の PCS 状況には と表示され、更新停止検出発生履歴を残し、通知メールの作成を行います（※ 1）。

（※ 1）履歴表示、メール送信は故障項目設定画面での設定内容に準じます。
（※ 2）更新停止検出設定画面の設定内容に準じます。

→ 現地のインターネット回線に障害が発生していないかを確認してください。

◆「計測端末 — サーバ間の無通信」による、表示と履歴・通知メール作成までの流れ

発生 / 復帰時にメール通知を行う設定をし（P. 10）、更新停止発生の検出（監視画面表示）をデータ更新停止から 30 分後、履歴・メール通知を監視画面表示から 10 分後に設定している場合（P. 17）。

時刻	状 態	サーバの処理
12：05	データ更新が停止	計測端末からのデータアップロードが確認できなくなった。
⋮		
12：35	停止が 30 分間継続	更新停止の発生を検出。一括監視画面のサイト状況に「異常」を、PCS 状況に「更新停止」を表示。
⋮		
12：45	履歴表示とメール作成	更新停止検出「発生」の履歴を表示。通知メールの作成。 ※メールの送信は、5 分間で発生したすべての故障項目を 1 通にまとめて送信するので履歴表示と同時に実行されない場合があります。
⋮		
12:△△	データ更新が復旧	一括監視画面のサイト状況・PCS 状況に「正常」を表示。 更新停止検出「復帰」の履歴を表示。通知メールの作成。

ログインできない

「ログイン画面の背景が真っ白で、表示がくずれている」「ログインボタンをクリックしても反応がない」という現象が発生した場合は、下記をご確認ください。

◆確認項目

- ①ご利用の PC や Web ブラウザは P. 1 の動作環境を満たしていますか？
- ②ご利用のネットワーク環境上で、接続先のサーバを制限していないかネットワーク管理者様へご確認ください。

通知メール

◆通知メールが送られてこない。

携帯電話へのメールの場合、セキュリティの関係からメールサーバで止まっている事が考えられます。パソコンメールを拒否しない設定や、ご使用のメール送信サーバからのメールが受信できるか確認してください (P. 16)。
携帯電話からのメールの詳細は、お使いの携帯電話会社や通信事業者にお問い合わせください。

◆通知メールが毎日送られてくる。

通知メールは、故障項目設定画面 (P. 10) の中からメール送信対象として選択している項目が発生 / 復帰した場合に、登録されているメールアドレスへ自動的に送信されます (初期設定では、全ての項目の発生が送信対象となっています)。

パワーコンディショナによっては、発電量の変化を軽微な故障として通知する機種もあります。日の出や日没時に毎日通知メールが送られてくる場合は、その故障項目を選択していることも考えられます (詳しくはパワーコンディショナの取扱説明書をご参照ください)。故障項目設定画面 (P. 10) や送信パターン設定画面 (P. 11)、メールグループ設定画面 (P. 14) をご確認ください、必要に応じて変更を行ってください。

◆故障などの発生から通知メールが送信されるまでの時間を知りたい。

故障が発生した場合、通知メールの送信は約 2～7 分後となります。
一括監視画面への表示と同様に、サーバ内処理の周期により最大 2 分のタイムラグが発生し、さらにメール送信の処理を 5 分毎に行っているため、2～7 分後の送信が目安となります。
※ メール送信の処理を 5 分間隔で行う理由は、メールを連続して大量送信すると、悪質なメールを大量に送るサーバと誤解され、送信や受信に制限が掛かる恐れがあるためです。

◆送信時間帯後なのに、通知メールが送られてきた。

上記のとおり、故障発生から通知メールが送信されるまでに約 2～7 分かかります。送信パターン設定画面 (P. 11) で設定いただいた送信時間帯中での発生については、送信のタイミングが送信時間帯後であっても通知メールを送信します。

例) 【送信時間帯】07:00～23:59 【故障発生時刻】23:58
→ 【通知メール送信時間】00:00～00:05

◆通知メールを受信したが、一括監視画面では正常と表示されている。

一括監視画面に反映される故障項目には、通知メールの送信対象となる故障項目が含まれない場合があります。詳細はパワーコンディショナメーカーにご確認ください。

◆発電サイトの名称を変更したが、通知メールのタイトルが変更されていない。

通知メールのタイトルは発電サイトの名称ではなく、ノード (P. 3) の名称であるため変更されません。また、お客様でノードの名称を変更することはできません (P. 15)。

ソフトウェア仕様

基本	
名称	Solar Link ARCH（ソーラーリンクアーク）
基本機能	
一括監視	PCS の発電状況や運転状況等様々な情報をネットワーク経由でクラウドサーバに蓄積し、これをネットワークを通じて、一括監視画面として閲覧することが可能。
PCS 状況一覧	PCS 毎の発電電力を、より詳細に確認することが可能。
グラフ	数種類のグラフを選択・表示できます。グラフは、1 日・1 ヶ月・1 年の単位で表示。詳細設定にてグラフの表示項目などの変更が可能。
データ表示	発電電力量、日射、および気温の変化を、「グラフ」「帳票」で確認することが可能。
データダウンロード	計測したデータを、CSV 形式でダウンロードすることが可能。
システム障害履歴	計測端末～サーバ間の障害の発生 / 復帰の履歴を確認すること、CSV 形式でダウンロードすること、および更新停止時のメール通知することが、それぞれ可能。
入力操作	発電サイトや PCS、アイテムの名称変更や、詳細記録画面などでの入力が可能。 ※ただし、いかなる場合も半角カタカナや機種依存文字は使用不可。
メール通知機能	一つの発電サイトに登録できるメールアドレスは最大 60 件。それらをグループ化して、故障項目毎に送信対象者や送信時間帯の選択ができ、故障項目が発生 / 復帰した際のメール通知可否の指定も可能。
位置情報の登録	発電サイトの位置情報の登録が可能。
気象情報	現在の天気・天気予報の表示が可能。
認可追加機能	ラプラス ID でのログインを認可するための登録コードを発行することが可能。
着せ替え設定	L・eye 監視画面のデザインテイストを選択できます。
オプション機能	
ストリング監視	一括監視画面にて、ストリング毎の発電状況・故障状況の項目を表示すること、それぞれの詳細情報を確認すること、CSV 形式でダウンロードすることが、それぞれ可能。
蓄電池情報	充電率 (SOC)、充電電力、放電電力の 3 つの項目を計測している場合に蓄電池情報エリアを表示。
受変電設備	一括監視画面にて受変電設備における計測項目の表示や接点入力項目発生時のサイト状況への反映、および接点入力項目が発生 / 復帰した際のメール通知可否の指定が可能。
検定付き電力メーター	検定付き電力メーターの計測項目が、一括監視画面の受変電エリアや電力メーター（計量値）エリアに表示され、データダウンロードも可能。
グループ監視	複数の地点で計測している場合、それらをグループとしてまとめて監視することが可能（通常の一括監視画面の上位に、複数サイトをまとめたグループ監視画面を追加）。1 グループ最大 100 サイト。
発電サイトマップ画面	グループ監視をされている場合に提供可能。複数の発電サイトの稼働状況を地図上で確認可能。
系統図監視画面	一括監視画面を“系統図”で表現した画面で、異常が発生した機器の場所を視覚的に確認することが可能。一部のグループ監視画面にも付加することが可能。
Web カメラ	侵入者防止等の観点から、Web カメラを設置・操作して、サイト周辺の状況を確認することが可能。 詳細は『L・eye 監視画面 取扱説明書 別冊《Web カメラ》』をご確認ください。
発電診断	4 つの発電診断「日射診断」、「出力比率診断」、「経年分析」、「発電停止診断」を提供。 「日射診断」と「出力比率診断」は、計測値を監視したり、比較したりして、診断対象 (PCS・ストリング) に異常がないかを診断する機能。「経年分析」は、発電サイトの経年変化をグラフと帳票を用いて見える化する機能。 「発電停止診断」は、計測値を監視して、発電が停止していないかを診断する機能。 詳細は『L・eye 監視画面 太陽光発電 取扱説明書 別冊《発電診断》』をご確認ください。
API	発電電力のデータを簡単に取得 (※) 可能なので、独自のアプリケーションを作成する際、取得したデータを利用することが可能。 (※) 所定の URL を入力する形で弊社サーバにリクエストを送り、必要なデータが XML 形式で返される。
出力制御機能	出力制御のスケジュールや制御の状況などの確認が可能。 詳細は『出力制御 機能説明書』をご確認ください。
遠隔制御機能	計測端末を経由し、監視画面から PCS のコントロールが可能。 詳細は『L・eye 監視画面 取扱説明書 別冊《遠隔制御》』をご確認ください。
自家消費型出力制御機能	自家消費型出力制御の設定、状況の確認などが可能。 詳細は『Solar Legato 機能説明書』をご確認ください。

改訂履歴

	バージョン・内容	発行日
初版	ARCH ver. 1.6.0 起草。	2013.07.29
	省略	
追加	ARCH ver 1.14.3 に対応。 ARCH マークおよび文言を L・eye に変更。 1000 を超える数字の表示は 3 桁カンマ区切りに変更。 各種履歴画面のデータ保存期間を削除。 「異常詳細コード」の表示を削除。	2018.07.02
修正	裏表紙の記載内容を修正。 更新停止検出設定・継続中通知の初期設定を追記。	2018.07.11
追加	ARCH ver 1.15.0 に対応。 グループ監視画面からデータダウンロードできる機能を追加。	2018.08.30
追加 変更	ARCH ver 1.15.4 に対応。 認可追加設定を追加。 監視画面のヘッダー部にあったログアウトボタンが、人マーク内に移動。 ログイン画面の「ログイン状態を保持する。」チェックボックスを削除。	2018.11.29
修正	動作環境の記載を修正。	2019.04.16
追加	ARCH ver 1.16.0 に対応。 売買電グラフを追加。 表紙にアップデートに関する注記追加。 グループ監視画面からのデータダウンロードに、ダウンロード対象がグループの場合の注記追加。	2019.08.01
追加	ARCH ver 1.16.1 に対応。 メールアドレス登録件数を最大 60 件に変更。 データダウンロード画面にデータ単位「30 分」を追加。 PCS 故障履歴画面の CSV 内容の修正。	2019.08.19
追加	ARCH ver 1.16.2 に対応。 PCS 故障履歴画面の「異常詳細コード（メーカー取説コード）」を「エラーコード」に名称変更、画面表示に「エラーコード」追加。 更新停止検出設定画面の説明を変更。 推奨ブラウザの変更。	2019.09.17
追加	ARCH ver 1.17.0 に対応。 発電診断の説明を変更。 対応 OS の変更。	2019.12.12
追加	低圧スマートメーター計測を追加。	2019.12.20
追加	ARCH ver1.18.0 に対応。 接点表示設定追加。 検定付き電力メーター計測を追加。 データダウンロード画面のデータ期間を拡張、合計値のデータダウンロード機能追加。	2020.02.17
追加	ARCH ver1.18.1 に対応。 検定付き電力メーター計測のデータダウンロードに総積算を追加。	2020.03.27
変更	ARCH ver1.19.0 に対応。（自家消費型出力制御機能ご利用時の蓄電池計測表示に対応、グラフ種類追加） 動作環境を見直し。ログインできないときの確認項目を修正。	2020.08.06
変更	風力発電と統合。 冊子を機能編と設定編に分割。 オプション取説から「発電サイトマップ」を移載。	2020.10.12
追加	ARCH ver1.21.0 に対応。（発電時間帯設定画面追加、着せ替え設定画面追加、履歴表示設定（時間帯）機能追加）	2020.11.27
変更	スマートフォン・タブレットの動作環境を更新。	2022.07.20

著作権について

本ソフトウェア、本説明書の著作権は株式会社ラプラス・システムに帰属します。

株式会社 ラプラス・システムの許可なく、内容の全部または一部を複製、改変、公衆送信することは、著作権法上、禁止されております。

本サービスにはそれぞれのソフトウェアライセンスあるいは著作権通知に基づき、オープンソースソフトウェアとして配布されるコンポーネントが使用されています。

詳しくは、<https://www.lapsys.co.jp/support/Leye/index.html> をご参照ください。

お問い合わせ先

株式会社 ラプラス・システム

お電話でのお問い合わせ

TEL: 075-634-8073

お問い合わせはコールセンターまで

弊社 HP からのお問い合わせ

<https://www.lapsys.co.jp/>

「お問い合わせ」フォームをご利用ください

取扱説明書ダウンロード：<https://www.lapsys.co.jp/support/Leye/index.html>

- ・本説明書で登場するシステム名、製品名、ブラウザ名、サービス名は、各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。
 - ・本説明書中では TM、R マークは明記していません。
 - ・本説明書の内容を無断で転載することを禁じます。
 - ・本説明書の内容は改良のため予告なく変更される場合があります。
-



株式会社 ラプラス・システム

〒612-8083

京都市伏見区 京町 1-245

TEL:075-634-8073 / FAX:075-644-4832

2022.07.20
